

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	由利本荘市役所
実習期間	平成 30年 9月 10日 ～ 平成 30年 9月 14日
学生氏名	原田翔晟
実習プログラム	4月10日 8時30分 : 観光文化振興課の皆様へ挨拶、実習内容説明 9時00分～終了まで : 観光看板調査  4月11日 9時00分～終了まで : 観光看板調査  4月12日 9時00分～終了まで : 現場見学、観光看板調査  4月13日 9時00分～終了まで : 観光看板調査  4月14日 9時00分～ : 観光看板調査 13時00分～終了まで : 打ち込み作業
学び・気づき (300字程度)	今回の実習では、由利本荘市に設置されている観光看板を調査するという作業をさせていただいた。作業内容としては、車で移動しながら看板を探し、写真の撮影と看板の所在地や寸法などを表に書くというものだ。この調査で作成したデータは今後、観光行政を行う上での基礎資料となるものだそうで、とても重要な作業であっただけに携わることができてとても貴重な経験となった。作業を通しての一番の収穫は由利本荘市を一周することができたことだ。今回、実習先として由利本荘市を選んだ理由として自分の知らない土地の観光について学んでみたいというのがあった。看板を調査しながら市内を一周したことで、各地域の観光施設や名所、特産物について知ることができた。

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回の実習では自分からアクションを起こすことがあまりできず身に付けなければいけないと感じた。大学は積極性を身に付けるには格好の場所だと思う。講義中のグループワークやサークル活動など人が動くのを待つのではなく自分から行動をおこす練習をし、コツコツと身に付けていきたい。</p> <p>また、五日間の実習を通して自分が将来本当にやりたいことはなんなのが見つめなおす良い機会になった。今自分にできることは何なのかしっかりと考えて、たくさんすることにチャレンジをしていきたいと思う。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>今回、感じた魅力は職場の雰囲気がとてもいいことだ。市役所に対して堅いイメージがあったが、笑顔もあり程よい緊張感のなかで職員の方たちが仕事をしていて。そのため、実習の時最初は緊張していたがすぐに緊張がほぐれた。</p> <p>観光看板調査をしているうちに気づいた由利本荘市の魅力は、鳥海山を中心とした自然だ。県外での知名度は低いけど滝や温泉など多くの観光資源があった。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	